令和３年１１月２４日

保護者様

横浜市立大道小学校
校長　　加藤　和之

令和3年度　全国学力・学習状況調査結果について

５月２７日に実施された、６年生対象の「全国学力・学習状況調査」の結果が出ましたので、お知らせいたします。

【 国語 】観点別集計結果

平均正答率（％）

評価の観点	問題数	本校	神奈川県	全国
知識・技能	6	64.2	63.8	68.3
思考・判断・表現	8	59.9	62.5	62.1
主体的に学習に取り組む態度	0			
全　体	14	62.0	63.0	64.7

【 算数 】観点別集計結果

平均正答率（％）

評価の観点	問題数	本校	神奈川県	全国
知識・技能	9	72.0	74.4	74.1
思考・判断・表現	7	67.0	65.1	65.1
主体的に学習に取り組む態度	0			
全　体	16	70.0	70.0	70.2

国語・算数の2教科と、学習や生活の習慣に関する子どもの実態や意識について調査が行われました。本校の国語・算数の平均正答率は、神奈川県や全国とほぼ同じであるという結果が出ました。

【国語】

知識・技能の観点では、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができていました。また、語句の使い方を理解し、話や文章の中で適切に使うことができていました。

思考・判断・表現の観点では、スピーチの内容を考える設問（話すこと・聞くこと）で、目的に応じて、内容が明確になるように話の構成を考えたり、資料を適切に用いたりすることができました。一方で、自分の考えを友達に主張する文章の「下書き」についての設問（書くこと）では、自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることが難しかったようです。

全体として、「国語」の力が、おおむね身に付いていると思われます。今後は、自分の考えが伝わるように書く場面で、事実と感想や意見とを区別して書くことができるよう指導していくことが大切だと考えています。言葉や文で「伝え合う」学習を大切にし、「目的」や「相手」をはっきりと意識しながら表現できるようにしたいと考えています。

【算数】

知識・技能の観点では、公式を活用し、速さと道のりをもとに、時間を求めることができました。また、棒グラフが表す数量や、項目間の関係を正確に読み取ることができました。一方で、直角三角形の面積の求め方についての理解や、商が1より小さくなる場面でわり算の式を立て計算をする問題につまずきが多く、課題が見られました。

思考・判断・表現の観点では、速さの問題で、速さが一定である場合の、道のりと時間の関係について考察することができました。一方で、複数の図形を組み合わせた平行四辺形の面積について、図形を構成する要素に着目して求める問題で、つまずきが見られました。

全体として、「算数」の力が、おおむね身に付いていると思われます。今後も、少人数指導を通して基礎・基本の定着を図るとともに、学習したことを活用しながら問題解決をしたり、自分の考え方を友達と伝え合ったりする学習を大切にしていきたいと思います。

【児童質問紙】

子どもたちの学習や生活の習慣について調査する「児童質問紙」では、嬉しい結果が出た質問がありました。それは、「学校に行くのは楽しいと思いますか。」という質問に、「はい」と回答した子の割合が、県平均に比べかなり高かったことです。これは、「将来の夢や目標を持っていますか。」「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。」といった質問に、「はい」と前向きに答えた児童の割合が高かったことにもつながっていると思われます。また、「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。」といった、地域とのかかわりについて聞く質問でも、「はい」と答えた子の割合が高かったことから、大道小のよさが表れていると思われます。

学習習慣については、「国語の勉強は好きですか。」「国語の勉強は大切だと思いますか。」といった質問に、「はい」と答えた子の割合が、県平均に比べて高くなっています。「算数」についても、同様の結果が出ました。これらから、本校の子どもたちは、学習をすることの意義を感じ、意欲も高いことが分かります。一方で、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。」といった質問に、「はい」と回答した子の割合が低いという結果が出ました。【国語】の欄でも書きましたが、今後も書いたり話したりすることで、自分の考えを相手に伝えるような経験を積んでいけたらと考えます。

今後も、学校とご家庭とが連携しながら、子どもたちの成長を支援していきたいと考えております。ご理解とご協力をお願いいたします。